



清瀬の杜

令和5年7月号
令和5年7月21日
校長 佐藤 明子

<http://www.kiyose.ed.jp/kiyosetyuugakkou/index.html>

小さな変化に気づき、早期の支援を

校長 佐藤 明子

本日、令和5年度1学期を無事終了いたしました。保護者の皆様におかれましては、74日間の教育活動に、ご理解とご支援をありがとうございました。明日から40日間の夏季休業に入ります。期間中の過ごし方につきましては、生徒たちに「夏休みのしおり」の冊子を配布し、本日、生活指導主任や担任からも話をいたしました。ぜひ、ご家庭でも休み中の時間の使い方について、話し合いをしていただきたく存じます。

(資料・相談窓口につきましては、本校ホームページに掲載しております。)明日からは、長い期間、学校生活から離れ、環境が大きく変わります。危機に直面したり、経験したことのない状況に遭遇した時、子供は心身にストレスサイン(異変)が現れ、必ず大人にSOSを発信します。小さなストレスサインであっても早期に気づき、対応することで、重症化を防ぐことができます。下の□には、子供の言動の変化の一例をお示しました。毎日のご家庭での観察に活用していただき、夏休みが心安らぐ時間になりますよう、配慮をお願いいたします。

本校では、月1回程度、生徒に相談しやすい環境をとということから相談アンケートを実施しています。いじめ防止対策をはじめ、喫緊の課題といわれる性暴力等の防止、ヤングケアラーの支援に向け、生徒が抱える個々の悩みを打ち明けられるよう教育相談活動を充実し、諸問題の早期発見に取り組んでいます。

特に諸問題が疑われるケースは、学校いじめ対策委員会や教育相談部会を中心に、早期解決に向け丁寧に対応します。加えてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、子ども家庭支援センター、市教育委員会、児童相談所、警察署等の専門家と連携し教職員と共通理解した上で、適切な指導を心掛けています。中学生期は著しい心身の成長に伴い、一層のご家庭との連携が大切です。生徒の様子で気になることがございましたら、まずは遠慮なく学校までご相談ください。

いつもと違う子供の言動 に気を配りましょう

行動の変化

- 学校に行きたがらない
- 学習への意欲が乏しくなる
- 家族に反抗的になる
- 休日でも家に閉じこもりがちになる
- 些細なことで物を壊したり、人に攻撃的になる
- 遊びや好きなことをやりたがらない
- 些細な物音にも驚く
- 親のそばから離れない、強い甘えが見られる など

ストレスサインが保護者にとっては、困った行動に見えることがあります。強引に解決に結びつけるのではなく、子供の感情を受け止めながら、子供との肯定的なコミュニケーションを心掛けましょう。

からだの反応

- 食欲がない、あるいは過食になる
- 眠れない
- からだの痛みやかゆみを訴える
- 以前には見られなかったチックが出たりする など

表情や会話

- ぼんやりしている
- 些細なことで泣く
- 元気がない
- 笑わなくなる
- 学校や友人のことを話したくない
- 一方的に話して会話が成立しない
- 喜怒哀楽が激しい、あるいは無表情になる など



困ったら 学校:042-493-6311 危険と感じたら:110番
悩んでいたら 東京都いじめ相談ホットライン:0120-53-8288

